

第5学年 社会科学学習指導案

児童 男子17名 女子20名 計37名
指導者 三浦栄一

1 単元名 食料生産を支える人々 2水産業のさかんな地域をたずねて（教育出版）

2 単元について

(1) 児童について

児童は授業始めに地図帳を開き、班毎に地名探しを行っているが、意欲的に取り組んでいる。ほとんどの児童は、資料から思ったことや気付いたことを書くことはできるが、資料から分かることについては読み取りが難しく、根拠となる理由も浅い。「農業のさかんな地域をたずねて」では、児童の疑問を基に学習問題を6つに分類し、その学習問題を解決するために資料集や新聞記事を使って授業を展開してきたが、どの児童も興味・関心をもって進めることができた。本単元は、食卓に出ている身近な魚介類が取り上げられ、また、岩手県宮古市の養殖漁業や栽培漁業も事例として取り上げられているので、児童にとっては身近に感じることができる学習内容である。しかし、児童にとっては居住地が内陸部であること、水産業についての知識や体験もほとんどないと思われるので、教科書や資料集、新聞記事を効果的に活用し、少しでも実感を伴って理解できるように工夫する必要がある。

(2) 教材について

学習指導要領第5学年の目標に、「(2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする」とある。また、内容(2)ウに、「食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き」とある。本単元は、これらの目標や内容を受けて設定した。本単元のねらいは、水産業がさかんな地域について調べ、その地域の特色や、人々の工夫や努力、悩みをとらえさせるとともに、水産業が加工や運輸などの仕事と密接にかかわっていること、水産資源や環境を守りながら漁業を進めていることに気付かせることである。

(3) 指導にあたって

本単元では、単元の始めに児童の疑問を基に学習問題を設定し、1時間1解決の問題解決的な学習を進める。学習問題を解決するために、教科書や資料集、新聞記事などを使って調べ、調べた内容を基に話し合いをする中で、水産業の悩みや課題、従事している人々の工夫や努力、願いについての新たな知識を身に付け、そこから日本の水産業の現状や課題に迫るようにしたい。また、学習のまとめとして、個人新聞も授業と同時進行で書かせる。その中で、学んだことや自分の思いや考えを書かせていくことで、水産業の学習を通して、今の自分たちの食生活を見直し、日本の水産業の現状や課題を自分自身の問題としてとらえる手立てにしたい。

3 単元の目標と単元の評価規準

観点	単元の目標	単元の評価規準
社会的事象への 関心・意欲・態度	○日本の水産業について関心をもって意欲的に調べ、自分たちの食生活を支えている水産業が今後どのようなようになっていくとよいかを考えることができる。	○日本の水産業について関心をもって意欲的に調べ、自分たちの食生活を支えている水産業が今後どのようなようになっていくとよいかを考えようとしている。
社会的な 思考・判断・表現	○水産業に携わる人々の工夫や努力、水産業と加工や運輸などの仕事とのかわり、自然環境を守るための取り組みについて考え、適切に表現することができる。	○水産業に携わる人々の工夫や努力、水産業と加工や運輸などの仕事とのかわり、自然環境を守るための取り組みについて考え、適切に表現しようとしている。
観察・資料活用の 技能	○水産業に関する写真や地図、統計などの資料を目的に合わせて、収集・選択し、的確に読み取ることができる。	○水産業に関する写真や地図、統計などの資料を目的に合わせて、収集・選択し、的確に読み取っている。
社会的事象につ いての知識・理解	○日本の水産業がさかんな地域の様子や、日本の水産業の現状と課題を理解することができる。	○日本の水産業がさかんな地域の様子や、日本の水産業の現状と課題を理解している。

4 単元の指導計画と評価規準（9時間）

	時 間	学 習 活 動	観 点			
			社会的事象への 関心・意欲・ 態度	社会的な思 考・判断・表現	観察・資料活 用の技能	社会的事象につ いての知識・理 解
と る 漁 業 に は げ む 人 々	1	・魚の名前や多くとれるところについて調べ、ふだん食べている水産物についての学習問題を考え、学習計画を立てる。	・水産物が、どこで、どのようにしてとられているのか、関心をもち、学習問題を考えようとしている。 (記述・発言)		・漁港の場所をもとに、海流の流れ方と関連付けて資料を読み取っている。 (発言)	
	2	・さんまをとる仕事の様子から海で働く人達の工夫や努力に気づくことができる。				・さんま漁の工夫や努力を教科書の資料から具体的に理解している。 (記述・発言)

とる 漁業 には げむ 人々	3	・根室市が漁業のまちとして発展してきたことをつかむとともに、さんまの出荷に携わる人々の工夫や努力をとらえる。		・教科書の資料から、さんまを出荷するまでの仕事の工夫や努力について考え、適切に表現している。 (記述・発言)	・根室港の様子について、写真や地図帳を使い、漁港の様子や位置、地形を適切に読み取っている。(発言)	
	4	・さんまが自分たちのもとに届くまでの様子を調べ、産地と消費者を結ぶ働きについてとらえる。			・教科書の資料から、さんまの輸送の交通手段、日数、移動距離等を整理して読み取っている。(発言)	・輸送には様々な方法があり、それぞれの利点を生かして、さんまが運ばれることを理解している。(記述・発言)
	5	・北方領土と漁業の制限や水産資源の減少について調べ、漁業に携わる人達の悩みや願いをとらえる		・漁業に携わる人々に多くの悩みや願いがあることに気づき、適切に表現している。 (記述・発言)		・北方領土問題や200海里経済水域による漁場制限があることを理解している。(記述・発言)
育てる 漁業 には げむ 人々	6	・養殖漁業や栽培漁業が自然の仕組みを生かした漁業であることを理解する。	・守り育てる漁業に関心をもち、わかめやこんぶの養殖やさけの栽培漁業について進んで調べようとしている。(記述・発言)			・漁師の人達が、自然環境を守り、思いを込めてわかめやこんぶ、さけを育てていること理解している。 (記述・発言)
	7 (本時)	・自然環境とのかかわりや未来のことも考えながら働く漁師の人達の工夫や努力、思いに気付く。	・守り育てる漁業に関心をもち、わかめやこんぶの養殖やさけの栽培漁業について進んで調べようとしている。(記述・発言)			・自然環境とのかかわりや、未来のことも考えながら働く漁師の人達の工夫や努力、思いに気付いている。 (記述・発言)

育てる漁業にはげむ人々	8	・日本の水産業の問題点について自分の考えをまとめる。		・養殖漁業や栽培漁業の問題点を考え、水産資源の安定確保にはどんな課題があるのかを適切に表現している。(記述・発言)		・養殖漁業や栽培漁業の課題を手掛かりに水産業が抱える問題について理解している。 (記述・発言)
	9	・かきの養殖漁業に携わる人々の植林活動を調べ、海の資源を育てるために、森や川の自然を守ろうとする努力や願いについてとらえる。		・海の資源を育てるために、自然環境を守ろうとするための工夫や努力、願いについて適切に表現している。(記述・発言)		・植樹活動の意味を通して、森と川と海が互いに深く関係し合っていることを理解している。 (記述・発言)

5 本時の指導 (7/9時)

(1) 目標

自然環境とのかかわりや、未来のことも考えながら働く漁師の工夫や努力、思いに気付くことができる。
(社会的事象についての知識・理解)

(2) 評価の観点と具体的評価規準

評価規準	十分満足	概ね満足	指導の手立て
自然環境とのかかわりや、未来のことも考えながら働く漁師の工夫や努力、思いに気付いている。 (社会的事象についての知識・理解)	教科書や新聞記事等から、漁師の人達の工夫や努力、思いを調べ、自分の生活に結びつけたり、農業や工業の学習を振り返ったりしながら、まとめている。	教科書や新聞記事等から、漁師の人達の工夫や努力、思いを調べ、板書の言葉を使ってまとめている。	教科書や新聞記事等から、漁師の人達の工夫や努力、思いが分かる文章を探し出させる。

(3) 展開

段階	学習活動 発問および指示 (○) 児童の反応 (・)	評価・留意事項 評価 (※) 留意事項 (・)
つかむ	1 宮古市の養殖漁業や栽培漁業を振り返る。 ○ なぜ、宮古市は養殖漁業や栽培漁業がさかんなのでしょう。 ・入り組んだ海岸は、海底が深く、水は栄養分が豊富だから。	・宮古市の海岸の写真を提示する。 ・教科書の記述をもとに、地形、川、海流の3点を押さえさせる。

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・魚や海藻を育てるのに適しているから。 ・親潮と黒潮がぶつかり合う面があるから。 <p>2 学習問題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 漁師の人達はどのような工夫や努力をし、どんな思いで仕事をしているのだろう。 </div>	
深める	<p>3 養殖漁業や栽培漁業の仕事の工夫や努力について調べる。</p> <p>○ 漁師の佐々木さんの話（P 8 3）から、漁師の人達が、どのようにして海や川を守ってきたのかを調べ、その理由を探しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合成洗剤を使わない。 ・海岸の清掃に取り組む。 ・よい整備を整える。 <p><理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・重茂の海が、わかめや昆布のほかに、あわびやうになどもたくさんとれる豊かな海だから。 ・重茂のわかめや昆布の養殖を未来につなげていきたいから。 <p>○ ふ化場の萬さんの話（P 8 4）からどのようにして、さけを育て、戻ってくる環境を保っているのかを調べましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水をきれいに保つ。 ・静かにして刺激を与えない。 ・川の水が減ったり、汚れたり、栄養分が減ったりしていないかを調べる。 ・山の植林や清掃活動を続けている。 <p>4 東日本大震災で津波の被害を受けながらも、漁業に励む重茂の漁師の人達の新聞記事を読み、その思いを知る。</p> <p>○ 「重茂ワカメ喜びの収穫」の記事を読み、思ったことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相乗りしながら、みんなで協力している。 ・長さ3mを超えるさおを使っていて驚いた。 ・立派なわかめがとれてよかった。 ・大変そうな仕事だが、頑張っている。 ・漁ができることがうれしそうだ。 ・津波で814隻が14隻まで減って大変だと思うが、頑張っ 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の記述から箇条書きで書かせる。 ・「豊かな海」「未来につなげる」のキーワードを押さえさせる。 ・教科書の記述から箇条書きで書かせる。 ・児童に新聞記事を配布し、読ませ、思ったことを簡単に発表させる。 ・児童の発言が教科書の記述に

30分	<p>○ 大震災後の大変な状況下でも、漁業を続ける意味は何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁師なので、海での仕事がいいから。 ・たくさんのかめをとりたいたから。 ・海が豊かな恵みをもたらしてくれるから。 ・重茂のかめやこんぶの養殖を未来につなげていきたいから。 	<p>戻るような問いかけをする。</p> <p>※大震災後の大変な状況下でも漁業を始めている漁師の人達の思いを考え、話すことができる。</p> <p>(記述・発言)</p>
まとめる10分	<p>5 本時のまとめをする</p> <p>○ 今日の学習のまとめを漁師の人達の気持ちになって書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 養殖漁業の漁師の人達は、海や川を守るための工夫や努力を続けることで、海の恵みももらい、未来につなげようとしている。</p> </div> <p>6 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・板書をもとに、自分なりの文章でまとめさせる。 <p>※工夫や努力を重ね、未来のことも考えて働く、漁師の人達の思いに気付くことができる。</p> <p>(記述・発言)</p>

(4) 板書計画

10 / 14 P 8 2

宮古市の海岸の
写真

漁師の人達はどのような工夫や努力をし、どんな思いで仕事をしているのだろう。

「重茂ワカメ」喜びの収穫の新聞記事

<佐々木さん>

合成洗剤を
使わない

海岸清掃

よい設備

- ・協力して
- ・朝早くから
- ・すごい
- ・立派なわかめ
- ・力合わせて
- ・うれしそう
- ・がんばって

- ・重茂の海が、わかめやこんぶのほかに、あわびやうになどもたくさんとれる豊かな海。
- ・重茂のかめやこんぶの養殖を未来につなげていきたい。

<萬さん>

- ・水をきれいに保つ。
- ・静かにして刺激を与えない。
- ・川の水が減ったり、汚れたり、栄養分が減ったりしていないかを調べる。
- ・山の植林や清掃活動を続けている。

○まとめ

(例) 養殖漁業の漁師の人達は、海や川を守るための工夫や努力を続けることで、海の恵みももらい、未来につなげようとしている。